

## 安全上のご注意

使用者や他の人への危害や、財産への損害を未然に防ぐために  
お守りいただく事項を説明しています

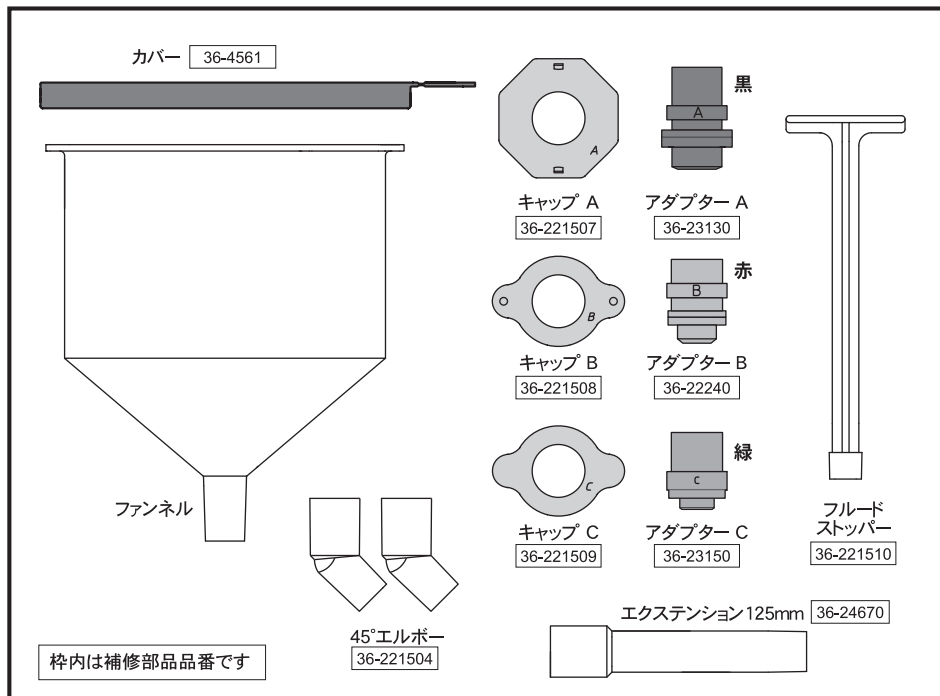
**警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**走行直後などエンジンが高温の場合は、作業しないこと**  
クーラントが高温の状態ではラジエーターキャップを開けると、クーラントが噴出し大変危険です。

**適切に換気された場所で作業すること**  
換気の不十分な屋内や閉鎖的な場所では、排気ガスによる一酸化炭素中毒の原因になります。

**平坦な場所で、サイドブレーキを掛けて作業すること**  
自動車が不意に動き出すと重大な事故の原因になります。

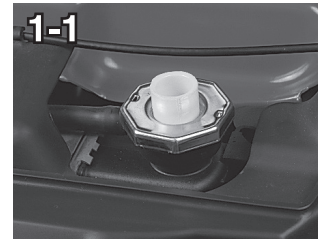
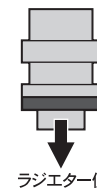
## セット内容



## 使用方法

冷却系統にエア開放弁が備えられている場合は、予め開放しておいてください。

- ラジエーターキャップを外し、適したサイズのアダプターをセットし、同サイズ(同じアルファベット)のキャップで固定します。[写真1-1]



アダプターのパッキンがラジエーター側に向くようにセットします。

ラジエーター注入口が傾斜している場合は、45°エルボーを使用してください。[写真1-2]  
また、必要に応じてエクステンション125mmを使用してください。



- 工程1で取り付けしたアダプターに、ファンネルをセットします。奥までしっかりと差し込んでください。

- ファンネルが約1/3満たされるように、ゆっくりとクーラントを注ぎます。



- エンジンを始動させます。ヒーターの温度設定を最高にして作動させます。サーモスタットが完全に開ききるまでアイドリングを続けます。ファンネルから空気が開放されて水位が下がるので、クーラントを適宜注ぎ足します。

ファンネルの水位が急激に上昇する場合は、すぐにエンジンを停止させて、水位が下がりきるまで再始動しないでください。

- 水位が下がらなくなり、気泡が出なくなったのを確認し、エンジンを停止させます。水温が下がるとともに、さらに水位が下がるので安定するまで待ちます。

- ファンネル内にクーラントが残っている場合は(水温が下がってから)ラジエーターホースをつまみながら、フルードストッパーを差し込みます。[写真4]



- ラジエーターからファンネル、アダプター、キャップを取り外し、元通りにラジエーターキャップを取り付けてください。

本品についてご不明な点は  
下記までお問い合わせください

テクニカルサポート部  
TEL 072-968-1146  
FAX 072-968-1147  
✉ tech@straight.co.jp